

米国パッシブハウス研究所。パッシブビルディングの認証、専門家の育成などを行う。
2017年、当法人 PHIEP (日本パッシブハウス協会) とパートナーシップを提携。

多種多様な気候が混じりあうアメリカで、最も効果を発揮すると研究開発された「気候別」パッシブハウス基準「PHIUS+2015」。3年ごとに基準は進化。最新2024年版は、アメリカ高性能建築のスタンダードとなる。

eラーニング

CPHC® 養成講座

2026年度
受講生募集

ゼロカーボン社会実現への
エース
切り札になる

Designed by Freepik

CPHC とは？

Certified Passive House Consultant

Phiusに認められた、パッシブハウス専門家の称号。現在、日本で取得できる唯一の米国パッシブハウス研究所公認の資格。
パッシブハウスの計画から認証まで、プロジェクトを円滑に進めるために必要不可欠な存在。クライアント・設計士・ビルダー・エンジニア・Phiusとの調整役となり、性能・納期・コストのベストバランスを実現する、まさしくプロジェクトリーダー。

CPHC® 養成講座は、Phiusが開発した専門家育成プログラム。地域の気候に合わせたパッシブハウス設計・施工を学ぶ、**全26回**の講座です。「木造戸建」例を使った基礎編・応用編で構成されていますが、最終回では応用例として「集合住宅」「非住宅」も紹介します。

「基礎編」では建築科学をベースに、パッシブハウスの基礎知識。「応用編」では、欧米で標準のエネルギー計算ソフト「WUFI® Passive」を使い、実際にモデル建物をプランニング。パッシブハウス基準をクリアするための、**実践的なテクニック**を学びます。

講師は、CPHCトレーナーとして活動する当法人理事長の岡田早代さんと、同じく在米副理事の黒川いずみさん。アメリカでの豊富な経験と実例を交え、分かりやすく解説します。

当法人はPhiusとのパートナーシップにより、日本語版CPHCの提供を始めました。受講から最終テストまでは「完全オンライン」で実施し、合格者にはPhiusからの認定証が贈られます。

2050年カーボンニュートラルに向け、日本でも高性能建築スキルが求められる今、一緒に「パッシブハウスの実践」を学びませんか？

非住宅の実務者の方も、まずは本講座を通じてパッシブハウスの基礎を固め、実物件への応用については個別相談いただけます。

岡田 早代

当法人 理事長



奈良県生まれ。ウェントワース大学建築学部卒業。ボストン市近郊のStudio G Architectsでパッシブハウスやネットゼロの集合住宅、幼稚園&小学校設計に携わる。日本ではPhius認定の横浜R邸で、パッシブハウスコンサルタントとして携わる。
2013年よりCPHC®、2018年よりPhius認定CPHC® トレーナー。

黒川 いずみ

当法人 副理事長 (在米)



長野県生まれ。カンザス大学建築学部大学院卒業。Peabody Architects 建築事務所勤務。ワシントンDCを中心に活躍中。2011年、初のパッシブハウス設計に携わる。以来、パッシブハウス、ネットゼロの新築、リフォーム設計を担当。2009年よりCPHC®、2018年よりPhius認定CPHC® トレーナー。

主催 NPO 法人 PHIJP

〒107-0052

東京都港区赤坂3丁目18-2 第1三州ビル2階

[MAIL] info@phi-jp.org [URL] https://phi-jp.org/

